

各位

上場会社名	黒谷株式会社
代表者	代表取締役社長 黒谷 純久
(コード番号)	3168)
問合せ先責任者	代表取締役副社長 井上 亮一
(TEL)	0766-84-0001)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年2月19日に公表しました平成28年8月期通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成28年8月期通期連結業績予想数値の修正(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	40,933	△202	△179	△177	△24.74
今回修正予想(B)	42,920	△592	△458	△381	△53.15
増減額(B-A)	1,986	△389	△278	△203	
増減率(%)	4.9	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年8月期)	—	—	—	—	—

平成28年8月期通期個別業績予想数値の修正(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	41,159	△199	△147	△145	△20.28
今回修正予想(B)	43,548	△584	△417	△348	△48.55
増減額(B-A)	2,388	△384	△269	△202	
増減率(%)	5.8	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成27年8月期)	56,068	154	99	102	14.35

(注)平成27年8月期通期連結業績は、公表しておりませんので、記載を省略いたします。

修正の理由

下半期の世界経済は、各国の政策期待から過度の警戒感の後退したものの、英国のEU離脱影響や中国の不良債権問題等、依然として先行き不透明感が熾り続けました。その結果、銅価格は、ドルベースではほぼ修正予想通りでありましたが、大幅な円高により円ベースでは8月が年度最安値となり、修正予想比下期平均で7.0%(予想552円、実績513.5円)の下落となりました。このような状況の中、銅鉱石の銅分悪化により製錬向け故銅の需要が増加したことから当社製・商品への需要が増加し、販売数量は修正予想を上回り売上高は、インゴットが1.2%の減少、スクラップが8.6%の増加となったため、全体では4.9%の増加となりました。しかし、国内経済の停滞や工場の海外移転などからスクラップの発生が減少していることに加え相場下落の売り惜しみから流通量が減少し、国内需給がタイト化しました。これにより仕入価格が上昇し、利鞘が悪化したためインゴットで78.8%、スクラップで58.3%の利益未達となり営業赤字が拡大いたしました。ヘッジ活用により営業外損益で117百万円の改善がありましたが、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益に関しましても予想を下回り、通期業績は上記の結果となる見通しであります。

通期の個別業績予想につきましては、連結業績予想と同様の理由により、売上高43,548百万円(前回業績予想比2,388百万円減)、営業利益△584百万円(前回業績予想比384百万円減)、経常利益△417百万円(前回業績予想比269百万円減)、当期純利益△348百万円(前回業績予想比202百万円減)となる見込みです。

以上